

第57期 株主通信 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

GECOSS REPORT



東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事

社長メッセージ

上期は増収増益となり、通期業績予想を上方修正し、中間配当も増配いたしました。

**当第2四半期の概況について**

当第2四半期連結累計期間(2023年4月~2023年9月)におけるわが国経済は緩やかな回復基調にあるものの、先行きは欧米の金融引き締め長期化と円安の定着、および中国経済減速等の懸念により、不透明感が払拭されない状況が続くと見ております。

当社グループの属する建設業界におきましては、需要面では公共投資は堅調で、設備投資も持ち直しの動きがありますが、資材、物流コスト高止まりの影響等により、採算面では依然として厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループでは価格適正化を最重点課題に掲げ、採算性向上の取り組みを進めております。当第2四半期においては、重仮設事業においては物件の着工が順調に進み、販売および工事売上が増加したこと、また建設機械事業においては保

有資産の入れ替えを積極的に進めたことによる資産売却の増に加え売却価格の上昇等があり、いずれも前年同期比増収増益となりました。

**下期の見通しおよび
期末に向けて**

需要は堅調で、下期以降も大型物件の順調な進捗が見込まれます。一方、鋼材価格は高止まり、また労務、物流の逼迫も続いております。この状況を踏まえ、重仮設事業においては引き続き価格適正化を最重点課題として取り組み、採算を重視した受注活動を進めてまいります。

また、建設機械事業では、当社グループ各社間の協業強化に加え、JFEグループとの連携による受注拡大等により、収益向上を図ります。

2024年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、第2四半期連結累計

期間の業績動向を踏まえ、売上高1,300億円、営業利益53億円、経常利益57億円、親会社株主に帰属する当期純利益38億円に上方修正いたしました。

なお、当社は株主に対する利益還元を経営の重点課題として位置付けており、連結配当性向30%を原則として安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。この方針に基づき、当期の中間配当は期初予想から1株当たり2円増配し、17円とさせていただきます。年間では、これに期末配当20円を加えた、1株当たり37円を予定しています。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

野房喜幸

トピックス

1

TOPICS

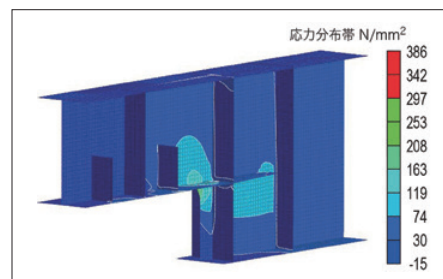
「H形鋼橋梁GHB®」の初架設と低桁高化製品の開発

当社初の本設橋梁用製品である「H形鋼橋梁GHB」の第一号案件の初架設を2023年9月末に実施しました。本案件は、神奈川県の間民間企業から受注し、詳細設計から工場製作まで自社で一貫して行っております。中小橋梁の架け替えや新設ニーズに対応した本製品は、2022年9月に商品化して以来、全国の自治体や建設コンサルタントなどからの問い合わせが100件を超え、市場の反響は好調です。



また、河川改修時を含む橋梁架け替えの際に求められる桁高制限に対応するため、従来のH形鋼橋梁GHBに低桁高化を図った新製品を開発しました。桁端部を切り欠き構造とし、補剛材やR加工により応力集中が緩和され、桁高低減を図ることができます。

当社は、今後も公共案件に加え民間案件も視野に、お客さまのニーズに沿った技術・サービスの提供を目指してまいります。



低桁高構造（応力解析事例）

2

TOPICS

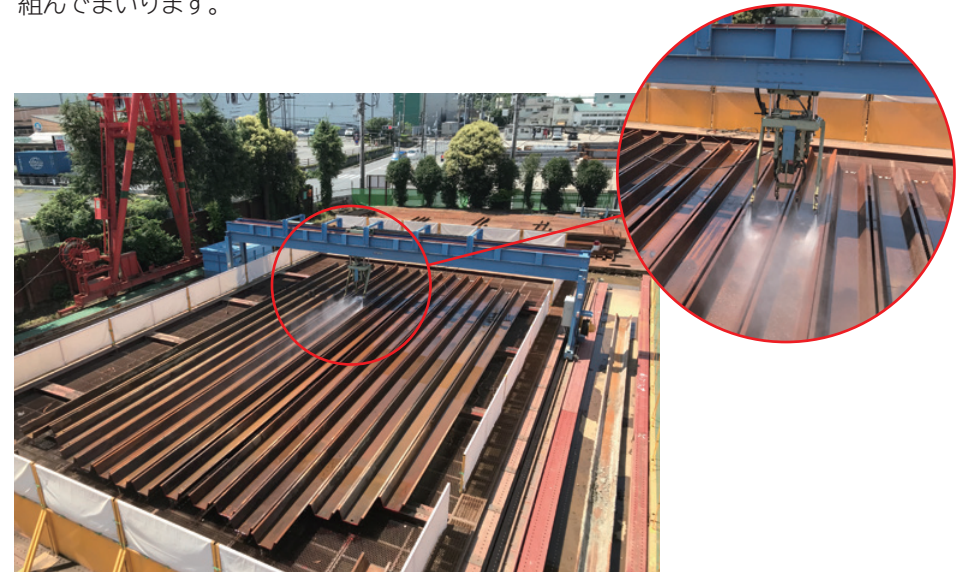
工場作業の省人化に向けて 多品種水洗機を開発・導入

現在、少子高齢化、労働人口の減少により、担い手確保は日本社会全体において大きな問題となっています。当社においても、対処すべき重要課題の一つとして、機械化、自動化をテーマに技術開発に取り組んでおりますが、このたび、工場の補修業務の中でも作業負荷の高い工程である鋼材の洗浄業務を省人化する「多品種水洗機」を開発しました。

この洗浄機は、鋼矢板、H形鋼、山留主材に適用しており、一枚ずつ敷き並べた鋼材の上を洗浄しながら自動走行していきます。従来の3人作業が2人で行えるようになり、この工程にかかる作業効率を大幅に向上することができました。

すでに全国の各工場へ4台導入しており、今年度は東京工場と仙台工場に追加で1台ずつ導入予定です。

当社は今後も、持続可能な事業運営を目指し、工場における機械化、自動化に取り組んでまいります。



ビジネス紹介

仮設工事のトップランナーとして、日本の大型インフラ建設を支えています。

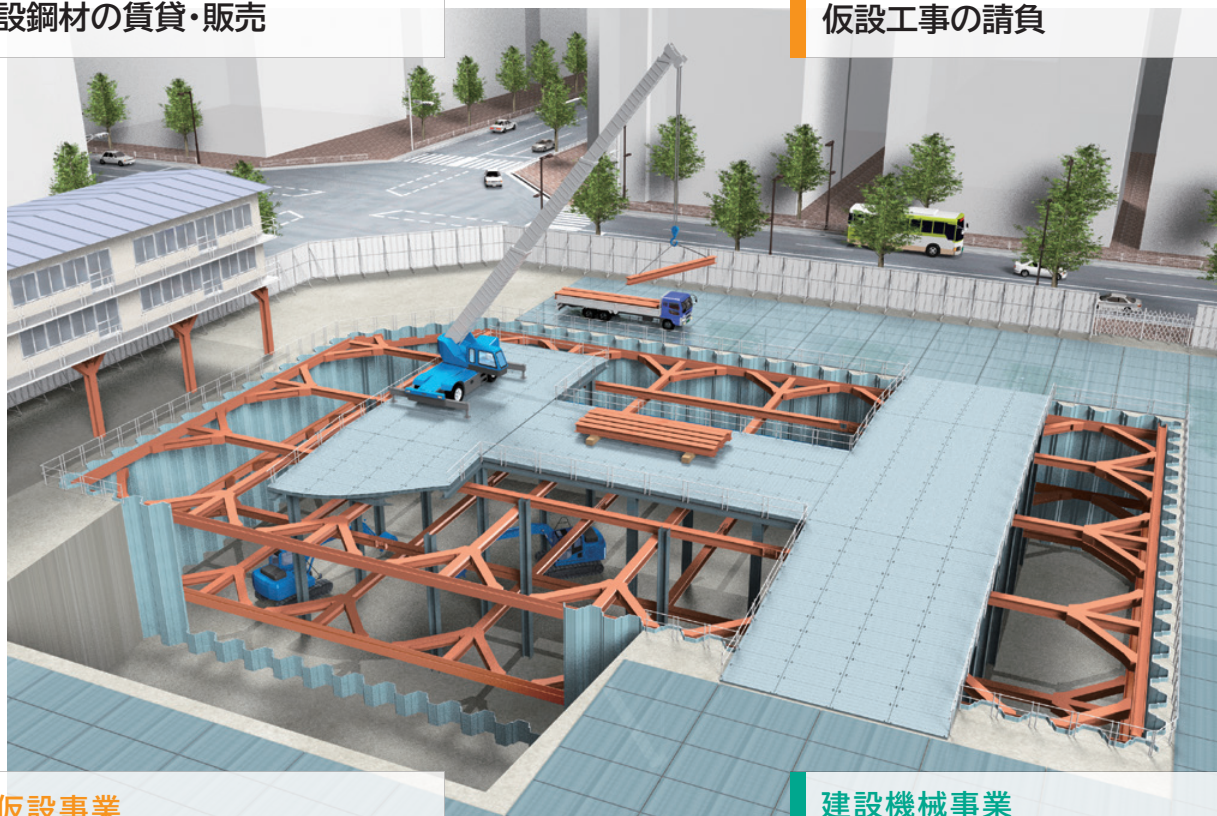
私たちの暮らしを支えるビルや道路などの大型のインフラ建設に欠かせない地下の基礎工事において

ジェコスグループは仮設の山留を中心とした材料供給・工事を行っております。

「ジェコスグループ10年VISION」をもとに、重仮設事業・建機事業の競争力強化、周辺事業の規模を拡大してまいります。

重仮設事業

仮設鋼材の賃貸・販売



重仮設事業

仮設工事の請負

重仮設事業

加工・橋梁製品の製造・賃貸・販売

建設機械事業

建設機械の賃貸

ジェコスグループ10年VISION

コンセプト

「安心、安全な社会の建設に貢献し働きがいの向上を追求する企業」へ

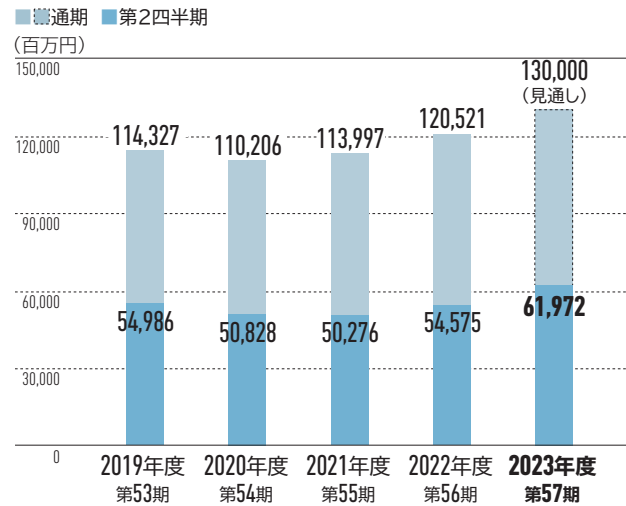
目指す姿

- 重仮設リースと施工の企業から地下工事を通じて**社会基盤を支える企業**へ
- 当社が中心となり、提携・協力企業とのシナジーを発揮する**ワンストップ受注体制の構築**
- 先端技術の積極導入による**持続可能な労働環境の実現**

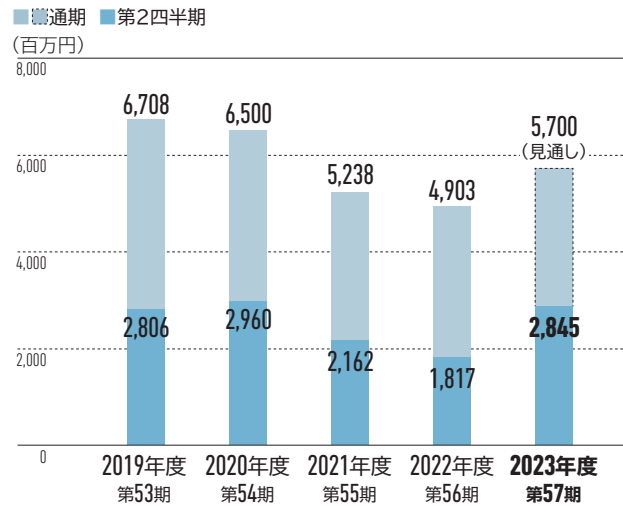
収益性確保と
持続的成長を実現

連結財務ハイライト

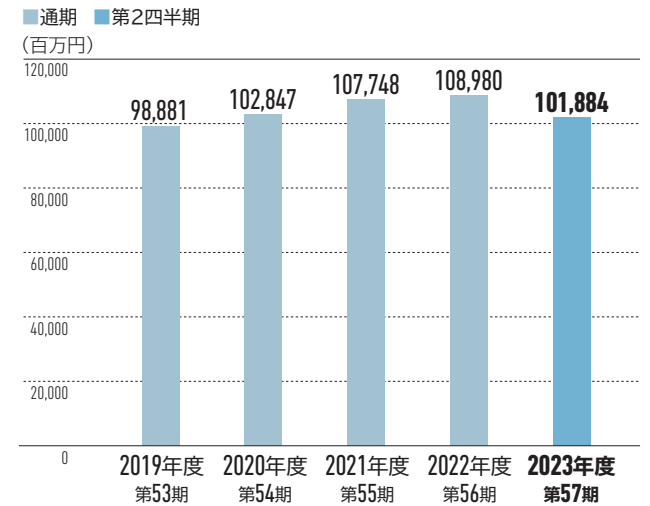
売上高



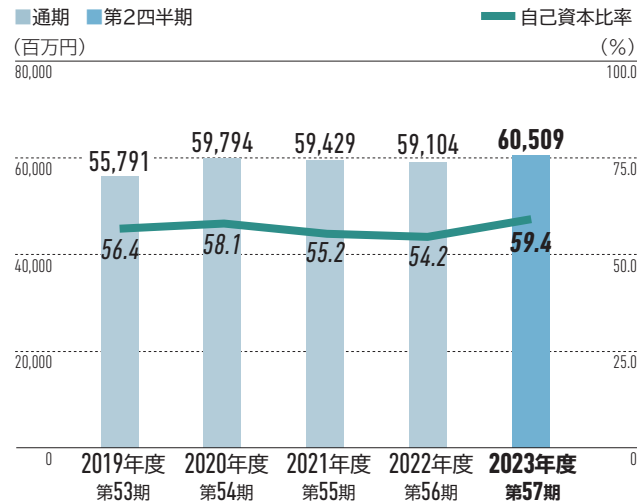
経常利益



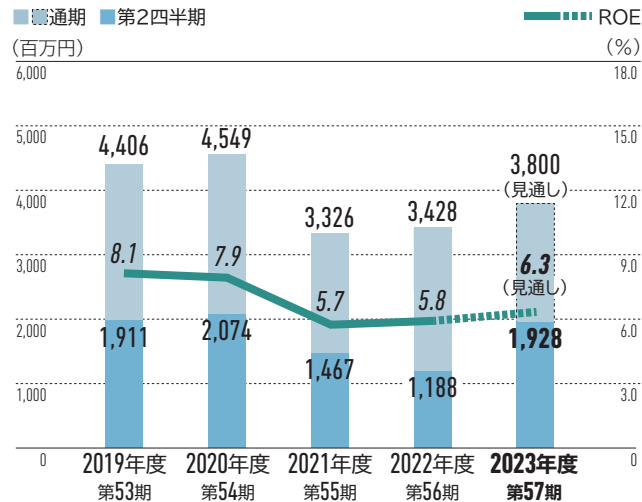
総資産



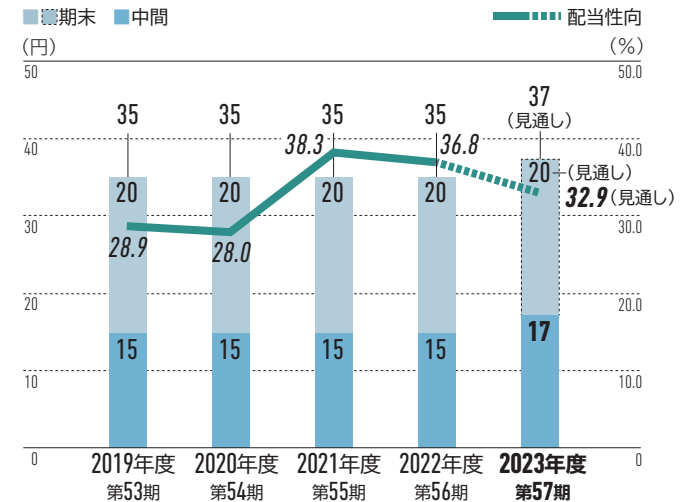
純資産・自己資本比率



純利益・ROE



配当



株主メモ

社名	ジェコス株式会社
社名(英文)	GECOSS CORPORATION
資本金	4,397,500,000円
設立	1968年6月20日
従業員数	1,363名(連結)(2023年3月31日現在)
本社所在地	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● H形鋼、鋼矢板、鋼製山留材、覆工板、敷鉄板等の建設工事用仮設鋼材の賃貸および販売 ● スチールセグメント、H形支保工等の加工品(製品)の製作加工および販売 ● 仮設橋梁の賃貸・販売および施工 ● 建設用機械、高所作業車等の賃貸 ● 杭打抜工事、山留架設・解体工事、ソイルセメント柱列壁工事等の設計および施工
親会社	<ul style="list-style-type: none"> ● JFEホールディングス株式会社 ● JFEスチール株式会社
上場取引所	東京証券取引所プライム市場
URL	https://www.gecoss.co.jp/
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告方法

電子公告

なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。

※公告掲載の当社ホームページアドレス

▶ <https://www.gecoss.co.jp/investors/announce/index.html>

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ダイバーシティ推進に向けて

当社グループは「多様な人材の活躍の場の提供に取り組む」ことを『サステナビリティ課題への基本方針』に定め、その実現に取り組んでおります。

今年度は、全従業員を対象に「ダイバーシティ推進講話セミナー」を開催し、参加者同士の意見交換を交えつつ、ダイバーシティや女性活躍推進に取り組むことの意義や活躍支援について意識すべきことを周知しました。また、女性管理職を対象とした研修を行うとともに、上司に対しても研修の趣旨を説明し、会社全体でダイバーシティを進めております。

女性管理職・役職者比率目標

	2022年度	中期計画目標 (2024年度)
女性管理職比率	10.6%	15.0%
女性役職者比率	2.4%	6.0%

※ジェコス単体の目標値

当社グループは今後も、働き方の柔軟性を高める施策の導入や男性従業員の育児休業取得の啓発を図るなど、すべての従業員が個性と能力を十分に発揮し、活躍できる風土づくりに取り組んでまいります。